

2017 年 公益財団法人信頼資本財団 事業報告書

目次

I. 基本方針	2
---------	---

II 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1）	2-5
2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）	5-6
3. 助成事業（公益目的事業3）	6-11
4. 社会デザイン事業（収益事業1）	11
5. 社会企業家育成事業（収益事業2）	11-14
6. 寄付獲得事業	14-15

III. 管理部門

1. 業務執行体制	15
2. 広報体制	15-17

【添付資料】

添付資料1 2017 年度 正味財産増減表

添付資料2 2017 年度 貸借対照表

I. 基本方針

・2014 年以降、重点的に取り組んできた社会的事業家の育成とそのネットワーク化に継続して取り組み、社会的事業家が活躍し易い土壌作りに取り組んだ。

・当法人の設立目的である、信託資本制度充実を目的とした良好な人間関係や知恵のような目に見えない資産（無形資産）の創出や蓄積をと共に、信託資本制度充実のための相互扶助ネットワーク確立に取り組んだ。

・さらに、当年度の事業目標にならい、人が自らの喜びを動機として社会的行動ができるための支援活動として、寄付商品の開発、公共施設や運営するコミュニティスペース活用を通じた財団活動への主体的な参画者増加をはかり、社会的事業家とその応援者のプラットフォーム構築に取り組んだ。

II. 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1）

当財団設立目的から逸脱しない社会的事業家を発掘、育成していくための融資を引き続き実施した。また、応募段階にある事業家の相談にも積極的に応じることにより、融資有無に関わらず当財団設立目的から逸脱しない社会的事業家の育成を促進した。

1-1. 財団融資

■実績

※全融資先からの返済に関して、当年度内に貸倒等は発生しなかった。

融資実施件数： 40 件

融資実施団体数： 32 団体

融資実績額： 97,570,000 円

融資未返済額： 4,035,000 円

① 通常融資

【第17期募集】

・受付期間： 2017年2月1日（水）～ 2017年3月24日（金）

※郵送物〆切： 3月31日（金）

・審査会日：2017年4月10日

・応募件数： 2件

- ・一次（書類）審査合格件数： 1 件
 - ・一次（書類）審査合格件数： 2 件
 - ・当期実施件数： 1 件
 - ↳融資対象者： NPO 法人 Silent Voice
 - 代表者名： 尾中友哉
 - 所在地： 大阪市西区南堀江 4-28-6-601
 - 事業内容： 2017 年 9 月から谷町 6 丁目駅付近に放課後等デイサービスの事業所として、聴覚障害・難聴児専門の総合学習塾「DEAF ACADEMY（以下 DA）」を開設。DA では、「きこえないからこそ伸ばせる力」を伸ばすことを目標とし、①視覚による能力開発②教科学習指導③夢を育てるワークショップを通じて、社会で活躍するリーダーを聴覚障害・難聴児から生み出すことを目的とする。
 - 契約時期： 2017 年 6 月
 - 返済額： 3,000,000 円
 - 返済期間： 24 カ月

【第 18 期募集】

- ・受付期間： 2017 年 8 月 1 日（火）～ 2017 年 9 月 22 日（金）
 - ※郵送物〆切： 9 月 29 日（金）
- ・審査会日： 2017 年 10 月 26 日（木）
- ・応募件数： 3 件
- ・一次（書類）審査合格件数： 1 件
- ・当期実施件数： 0 件

【前年度応募者への融資実行】

- ・合同会社 nimai-nitai
（融資額 1,000,000 円／期間 2017 年 1 月 1 日～2018 年 1 月 31 日）
- ・一般社団法人くじら雲
（融資額 3,000,000 円／期間 2017 年 2 月 3 日～2019 年 1 月 31 日）

【継続実施】

- ・認定 NPO 法人箕面こどもの森学園
（融資額 1,000,000 円／期間 2016 年 3 月 31 日～2017 年 2 月 28 日）

② 国または地方公共団体ないしそれに準じる組織から直接補助金、助成金等の交付を受けるまでの資金のつなぎを目的とする融資（以下：つなぎ融資という）

【募集】 随時

- ・ 応募件数 : 0 件
- ・ 新規実施件数 : 0 件

【継続実施】

- ・ 特定非営利活動法人英田上山棚田団
(融資額 2,500,000 円/期間 2016 年 7 月 21 日～ 2017 年 5 月 31 日)

1-2. 金融機関との協働融資

融資は京都信用金庫から実施される。当財団は一次審査を行い、二次審査を京都信用金庫が行う。融資が決定した事業者は、京都信用金庫に利子を支払うが、当財団が利子相当額を当該事業者に助成することによって、当該事業者は、無利子・無担保で融資を受けることができる。

当年度は 1 件の応募があったが、審査は翌年度に持ち越しとなった。

【募集】 随時

- ・ 応募件数 : 1 件
- ・ 審査合格件数 : 0 件
- ・ 新規実施件数 : 0 件

【継続実施団体】 2 件

↳ 助成対象者(継続):株式会社坂ノ途中

- ・ 助成期間 : 2013 年 10 月 31 日～2018 年 10 月 20 日
- ・ 助成額 : 23,122 円
(2016 年 12 月～2017 年 3 月、計 10 カ月の融資返済にかかる利子分を補填)
- ・ 実施日 : 2017 年 4 月 31 日, 2017 年 10 月 31 日

↳ 助成対象者:NPO 法人エクスクラメーションスタイル

- ・ 助成期間 : 2014 年 5 月 30 日～2024 年 4 月 30 日
- ・ 助成額 : 0 円 (未申請)

1-3. 事業相談会の実施

事業経営上の悩みや社会的な障壁に関するヒアリングを行うと共に、その解決を支援するため、融資ならびに共感助成実行中の事業者、融資・助成応募検討者を対象とした事業相談会を以下の通り開催した。

■実績

- ・日程： 2017年2月25日(土),7月22日(土)
- ・申込件数： 各6件(計12件)
- ・事業相談会経由の融資応募件数： 2件

2. 知恵・知見の蓄積事業(公益目的事業2)

2-1. 良質な知恵・知見および人的ネットワークの蓄積

融資・助成事業を通じて蓄積した社会的事業に関する知恵・知見といった無形資産を交換する相互扶助システムづくりに、昨年に引き続き取り組んだ。

2-2. システムの構築

社会的事業や課題に関する解決策を求める事業者・個人と、これに対応する知恵・知見・技術を持つ事業者・個人を web 上で結び付けるシステム構築に向け、2014 年度より試験運用を開始しているシステムについては、機能の再検討が必要と判断されたために、一般公開を延期し、当年度は2-3. オフラインネットワークの活性化に注力した。

2-3. データの蓄積と整備

新規の融資事業・助成事業及び信託責任者に知恵・知見の提供を求めると共に、この知恵・知見のデータの2-1. のシステムへの登録作業を行った。

データ登録者数(年度末時点)

①融資事業代表者・信託責任者 登録数	63名
②助成登録数事業代表者・信託責任者 登録数	193名
知恵・知見データ登録者数(①+②)	256名
上記のうち web システム登録者数	81名

2-4. オフラインネットワークの活性化

社会課題解決に向けた事業がより増幅していくため、助成金等に過度に依存せず相互扶助

し合う実質的な社会的事業家同士でのネットワーク拡大に向けたオフラインの場として、「シンライノテーブル」を開催。社会的事業家参加者同士の協力関係および協力者を紹介し合う関係性を育むため、共感融資・共感助成代表者およびA-KIND 塾受講生が、取り組みたい社会的事業（活動）や事業の悩みを話し合う場を設けた。

■実績

開催日：2017年9月6日(水),10月4日(水),11月8日(水),12月6日(水)

開催地域：東京都

参加人数：各回8~12名（当財団メンバー、融資先団体、助成先団体、A-KIND 塾〈5-2〉卒塾生から各2~3名）

3. 助成事業（公益目的事業3）

寄付者が特定の事業やテーマを指定して寄付をし、その寄付金をもとに助成を行う、「事業指定助成」という形態の「共感助成」事業を昨年に続き、実施した。

■実績： 助成総額 144,207,194 円

<各団体詳細>

- ・特定非営利活動法人チームレスキュー

代表者名： 小野 聡美

所在地： 愛知県瀬戸市市場町13番地

事業内容： 東日本大震災直後から宮城県七ヶ浜町を拠点に、復興支援活動を行う。

- ・公益財団法人民際センター

代表者名： 秋尾 晃正

所在地： 東京都新宿区山吹町337 江戸川橋東誠ビル 5F

事業内容： 子どもたちの豊かな想像力と思考力を育むため、ラオスの子どもたちに図書セット（約150冊の本が入った木箱）を贈る事業を行う。

- ・特定非営利活動法人ユナイテッドアース協会

代表者名： 瀧上 智信

所在地： 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-7-4

事業内容： 市民の共働によって、「心育まれる希望あふれる社会」を実現すべく、海外の貧困地域への自立支援活動や環境保護活動など、様々な社会問題への取り組みを行う。

・ソーシャルジャスティス基金

代表者名： 上村 英明

所在地： 新宿区歌舞伎町 2-19-13 ASK ビル 5F

事業内容： 公正な社会の実現にむけ市民の提案活動を助成、社会対話の場を創る市民ファンドの運営。

・特定非営利活動法人オン・ザ・ロード

代表者名： 高橋 歩

所在地： 東京都世田谷区北沢 2-33-5 下北沢 TKS ビル 3 階

事業内容： インド、ウツタルプラディーシュ州のラームナガルという町で、フリースクール（無料で通える学校）「マザーベイビースクール」を運営。

・特定非営利活動法人母と子の虹の架け橋

代表者名： 若菜 多摩英

所在地： 岩手県花巻市田力第 9 地割 24 番地

事業内容： 寄り添い型の相談で、個々人に合った支援計画の下、ママの自律・自立を支援する。また、“サロン”を運営し、ママの自己肯定感・自尊感情を体験的に獲得する場とする活動を行う。

・特定非営利活動法人底上げ

代表者名： 矢部 寛明

所在地： 宮城県気仙沼市南が丘 2-2-12

事業内容： 気仙沼市・南三陸町の高校生が地域課題に対し主体的に活動できる持続可能な環境の構築を行う。

・一般社団法人 KYOTOGRAPHIE

代表者名： 仲西 祐介

所在地： 京都府京都市北区鞍馬口通西入ル新御霊口町 270

事業内容： 日本の古都・京都を舞台に、伝統文化と現代アートの融合を図る国際写真フェスティバル。いまだ評価の遅れている写真芸術の理解に一石を投じるべく、国内外の写真家および写真作品を世界的な視点で選出し、京都市内のギャラリーやカフェなど約 50 カ所にて紹介に努める。

・公益社団法人難民起業サポートファンド

代表者名： 吉山 昌

所在地： 東京都新宿区四谷 1-7-10 第三鹿倉ビル 6 階

事業内容： “難民起業家”をマイクロファイナンスと経営支援で支えている。この活

動により難民個人や難民コミュニティの状況改善を実現する。

・国際環境 NGO FoE Japan

代表者名： 三柴 淳一

所在地： 東京都板橋区小茂根 1-21-9

事業内容： 地球規模での環境問題に取り組む活動を行う。

・一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク

代表者名： 池田 徹

所在地： 新潟県十日町市四日町 1426 の 6

事業内容： 日本の源流地域に息づく自然、歴史、文化、伝統、技、英知等の「たからもの」の再発見と地球環境と折り合いを付けながらも質の高いライフスタイルを探求し、信頼で繋がる未来社会を創生するための事業を行う。

・構想日本

代表者名： 加藤 秀樹

所在地： 東京都千代田区平河町 2-9-2 エスパリエ平河町 3F

事業内容： 政策研究で終わりではなく、議員、行政職員、企業経営者、研究者など、様々な世界で活動している人たちと連携して、その経験や問題意識を政策にして、知恵を結集して政策を実現する活動を行う。

・一般財団法人教育支援グローバル基金

代表者名： 藤沢 久美

所在地： 東京都渋谷区神南 1-5-7 ETIC.内

事業内容： 東日本大震災で被災した若者がグローバルに活躍するリーダーへと成長することを支援することを目的とした事業として、包括的なリーダーシップ支援事業を実施。

・一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

代表者名： 山本 隆

所在地： 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

事業内容： 国内外で起こる災害に対し、スタッフ・ボランティアを現場へ派遣し、素早くかつ大規模に被災者支援を行う。活動内容は、支援物資の配布、炊き出し、泥かきなどの清掃作業、避難所・仮設住宅居住者へのサポートなど、行政による公助では十分な対応が追いつかないものを中心。

・特定非営利活動法人キッズドア

代表者名： 渡辺 由美子

所在地 : 東京都中央区新川 2-1-11 八重洲パークビル 7 階

事業内容 : 親の収入によって教育機会を奪われてしまいがちな子ども達へ無料の学習支援を中心に、すべての子どもが夢と希望のもてる社会の実現に向け「子どもの貧困」および「教育格差」を解決するための活動を行う。

・一般社団法人 Japan Treasure Summit

代表者名 : 小宮山 宏

所在地 : 東京都渋谷区南平台町 6-4-201

事業内容 : 学術芸術のすばらしさ伝え、寄附により学術芸術を支える文化の醸成について考える機会を提供するサロン活動を行う。また、人材育成として学術芸術活動のためのファンドレイザー育成プログラムを展開。

・一般社団法人グリーンピース・ジャパン

代表者名 : 細川 弘明

所在地 : 東京都新宿区西新宿 81-13-11 NF ビル 2F

事業内容 : 地球規模の環境破壊を止めることを目的に、環境破壊の現場調査、科学的な分析結果に基づくレポートや代替案の作成、メディア等への情報提供、国連「総合協議資格」を利用した国際会議での働きかけや交渉過程の監視、政府・企業への代替案の提案・要請を行う。

・一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

代表者名 : 星川 淳

所在地 : 東京都文京区湯島 2-9-10-2F

事業内容 : 「自然環境と人間生活の調和を目的とした市民の主体的行動を支援する」という事業目的に沿って、(1)ネオニコチノイド系(浸透性)農薬のリスク低減、(2)脱原発・エネルギーシフト、(3)東アジア環境交流の3分野で公募助成および企画助成による問題解決型の支援と、市民活動促進のための環境醸成および触媒作用を図る自主企画を実施。

・特定非営利活動法人東京ソテリア

代表者名 :

所在地 : 東京都江戸川区松島 4-46-2

事業内容 : 地域精神保健福祉の在り方の検討が進むなか、当事者(精神障害者)と家族のニーズを知ることは重要な課題となっている。イタリア・ボローニャ県からの招聘を受け、日本からこの課題に対する取り組みを伝える企画をおこない、望ましい精神保健について話し合い、当事者主体の地域精神保

健を推進することを目的としている。

・ NPO 法人障害者サポートセンター

代表者名： 安斎英郎

所在地： 東京都町田市小山町4047-1

事業内容： 障害者、その家族、高齢者のサポート、困りごとの相談会、セミナー、レクレーション、スポーツイベント、障害者参加型の海洋レジャー、マリンスポーツの普及とその支援、訪問事業、送迎事業、付添事業、青少年育成、地域振興等、平和教育等。

・ 特定非営利活動法人 離島経済新聞社

代表者名： 大久保 昌宏

所在地： 東京都世田谷区三軒茶屋2-49-6

事業内容： 日本で「本土」と定められる5島以外の約400島の「有人離島」の情報を集め、伝え、支える活動を行っている。

・ 一般社団法人こいのぼり

代表者名： 菅沼 正司

所在地： 愛知県豊田市渋谷町1-1-16

事業内容： 当事業は、有効な治療法が存在しない難病「ミトコンドリア病」の社会的創薬プロジェクトである、「7 SEAS PROJECT (7SP)」を支援する事業。

・ NPO 法人京都難病支援パッションエ

代表者名： 上野山 裕久

所在地： 京都府右京区嵯峨天龍寺角倉町7-13

事業内容： 主に難病を持っていて障害者手帳を取得できない者の、社会的・経済的自立を目指して就労支援を行っている団体。

・ NPO 法人日本麻協会

代表者名： 横山 史佳

所在地： 大阪府堺市西区家原寺町1-19-4

事業内容： 多様な使い方のできる麻素材を多くの方に生活の中に取り入れてもらう、麻産業の活性化・麻地球市：衣食住、麻製品の出店

・ 一般社団法人 スマイルゲート

代表者名： 清水 英明

所在地： 大阪府枚方市町楠葉1-3-9

事業内容： 衰退傾向にある日本の「1次産業」に、障がい者が新たな担い手となり「次世代産業化」を目指す。京都府南丹市において有限会社京都丹波牧場と提携し、農地の借用と畜産から出る「堆肥」を無償譲渡いただき、産廃である堆肥を発酵させ無添加の「超肥料」として生産し、牧場敷地内に無農薬野菜畑を展開。牧場の牛肉と栽培したオーガニック野菜を用いて加工品として販売、また飲食店を展開する。

4. 社会デザイン事業（収益事業1）

社会的企業へのアドバイザー事業として、社会的企業を対象に年契約を締結し、商品コンセプトや事業戦略へのアドバイス、組織体制づくりの支援を行った。

■実績

契約社数： 1件

売上額： 1,000,000円

5. 社会企業家育成事業（収益事業2）

社会的事業家育成や、社会的事業を通して創出する社会について議論し、解決策を見出し、いく場を企画・運営することにより、当財団の設立理念を具現化するために欠かせない共感し合う人的ネットワークの拡大に取り組んだ。

5-1. 未来設計実践塾

行政職員を対象として、様々な社会課題を抱える日本の各地域において、市民の当事者意識を育み、市民が社会的事業を通して社会課題の解決に取り組みやすい環境を整備するための政策形成を学び合う場として、2年連続の育成塾。昨年に続き、第1期2年目のカリキュラムを実施した。

■開催実績

- ・開催日： 6/21(水), 7/19(水), 8/16(水), 9/20(水), 10/18(水), 11/15(水), 12/20(水)
全7回
- ・受講者数： 6名
- ・成果： 受講者全員を1チームとして「未来志向の行政職員の行動規範」を作成、発表を行った。

5-2. A-KIND 塾

熊野英介財団理事長を塾長とする、思いを形にする技術としての社会的事業を学ぶ企業家育成塾。社会人経験者及び、起業もしくは正規雇用経験がある学生を対象に、「KIND=親

切な、優しい、思いやりのある、親切で、心からの」という目には見えない、耳には聞こえない価値を形にし、売り手良し・買い手良し・世間良し・未来良しという「四方良し」の持続可能な社会貢献を行うことで、企業の生存確率をあげ、利益を上げるための原資である信頼関係を増幅するという視点に立った講義を実施。ビジネスの原点である「人の心を掴み」拡大再生産を行うことを、講師・起業家同士で学び合う。昨年に引き続き、第3期を開講した。

本塾生によるコミュニティは当年度で約60名となり、毎月自主的な対話・勉強会が開催されている。

■開催実績

- ・開催日：4/26(水), 5/24(水), 6/28(水), 7/26(水), 8/23(水), 9/27(水), 10/25(水), 11/11(土), 11/22(水), 12/20(水) 全9回
- ・受講者数：20名
- ・成果：4チームに分かれて、フリーマーケットにて「社会的行動動機による購買動機」を促す「ライフスタイル必需品」の提案・販売を行った。

5-3. 信頼デイ

主に西日本エリアの融資・助成先団体とその支援者を対象として、当財団として目指す社会への行動指針を見出すべく、関係者が信頼資本社会について見つめなおすと共に、互いに深く知り合い、つながりを深めるプログラム（招待形式）を開催した。なお、ゲストはボランティア（交通費含む実費負担）での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日：2017年11月11日(土)
- ・タイトル：第5回信頼デイ 「未来の資本システム、始まる」
- ・開催形式：招待制
- ・参加者数：71名
- ・参加者満足度：88%
(「とても興味深かった」もしくは「興味深かった」と回答した人の割合)

・プログラム：

【第1部】	「信頼資本社会とは？ -ブロックチェーンを切り口に-」
登壇者	プレゼンター ・松田 一敬 氏 ((株) SARR 代表執行社員 / ソラミツ株式会社 会長) ・熊野 英介 (当財団理事長) モデレーター

	・土谷 貞雄 氏 ((株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮らし研究家 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー)
【第2部】	「信託資本社会の実践者たち」
登壇者	スピーカー ・光岡 大介 氏 (ファームアンドカンパニー株式会社代表:当財団融資先) ・廣中 桃子 氏 (合同会社 nimai-nitai代表:当財団融資先) ・尾中 友哉 氏 (NPO法人 Silent Voice代表:当財団融資先) ・守安 あゆみ 氏 (NPO法人 箕面こどもの森学園副代表:当財団融資先) ・鮫島 さやか 氏 (一般社団法人KYOTOGRAPHIE代表代理:当財団助成先)
【第3部】	「信託資本アソシエーションへ」
登壇者	モデレーター ・谷崎 テトラ 氏 (構成作家 / ワールドシフトネットワークジャパン代表理事 / 当財団シニアフェロー)
【第4部】	「信託資本アソシエーションダイアログ」

5-4. 東京ギャザリング

主に東日本エリアの融資・助成先団体とその支援者を対象として、当財団として目指す社会への行動指針を見出すべく、関係者が信託資本社会について見つめなおすと共に、互いに深く知り合い、つながりを深めるプログラム(招待形式)を開催した。なお、ゲストはボランティア(交通費含む実費負担)での協力を得た。

■開催実績

- ・開催日 : 2017年6月17日(土)
- ・タイトル: 第2回 信託資本東京ギャザリング『過労死する資本主義、格闘する社会的事業者 -希望は人の心にある-』
- ・開催形式: 招待制
- ・参加者数: 56名
- ・プログラム:

【第1部】	「過労死する資本主義、信託資本財団の役割」
登壇者	スピーカー ・熊野 英介 氏 (当財団理事長)
【第2部】	「格闘する社会的事業者」

登壇者	<p>モデレーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土谷 貞雄 氏 ((株)貞雄代表 / HOUSE VISION企画担当 / 建築家 / 暮らし研究家 / ウェブコミュニケーションコンサルタント / コラムニスト / 当財団シニアフェロー) <p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石田 和之 氏 (一般社団法人働くしあわせプロジェクト代表理事: 当財団融資先) ・江崎 礼子 氏 (株式会社ソノリテ代表: 当財団融資先) ・宮内 孝輔 氏 (株式会社Micro Nations代表取締役: 当財団融資先) ・石川 麻由 氏 (株式会社ウィルモア代表: 当財団融資先) ・矢部 寛明 氏 (NPO法人底上げ 代表理事: 当財団助成先 / 当財団フェロー) ・深草 亜悠美 氏 (国際環境NGO FoE Japanスタッフ: 当財団助成先) ・米田 祐子 氏 (国際環境NGOグリーンピース・ジャパン事務局長: 当財団助成先)
【第3部】	「格闘してきた先輩社会的事業家」
登壇者	<p>スピーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海津 歩 氏 (ヤマトボックスチャーター株式会社 業務改革担当部長 / 当財団評議員)
【第4部】	グループワーキング「格闘する社会的事業家の葛藤と、そこから見えたもの」

6. 寄付獲得事業

現事務所の町屋に併設されているコミュニティスペースで定期的に行われるプログラムに、共催として運営協力を行うことにより、プログラム参加者から「ありがと本」プログラムを通じた寄付獲得に努めた。

■ 共催プログラム実績

- ・名称: ともいき京都
- ・主催団体: ともいき京都
- ・活動内容: がんを体験した人々が周りのいのちと共に生き、環境との調和をめざしつつも、多様な考え方や生き方が尊重されるネットワーク (人間関係の広がり) 創りを目指し、がんを体験した人が、自己の体験や思い、生き方について自由に語れる場を提供する。
- ・開催実績: 1月～12月 (毎月第2・第4金曜日) 計24回

- ・ 寄付内容：「ありがと本」の寄付、および物品（上記の町屋運営に要する備品）の寄付を得た。

Ⅲ. 管理部門

1. 業務執行体制

1-1. インターン生の受入

現在の職員同様インターン生から職員になる者、また、社会的事業者、その支援者になっていくような人材の育成を目的として、関西圏域から最大4名のインターン生の受け入れを行った。また、大阪成蹊大学芸術学部の夏期インターンシップ・プログラムに提携登録を行い、上記4名のうち1名の学生の受け入れに繋がった。

1-2. コミュニティスペース運営

当財団オフィスがある建物「風伝館」内の無料貸出コミュニティスペース運営の受託を昨年引き続き行うことにより、当財団の広報活動を行った。

1-3. 中国・九州支部の運営

昨年度に引き続き、中国・九州地方からの融資応募に対しては、現地面談および審査会実施について、上記支部が対応する形態を取った。

2. 広報体制

2-1. SNS・メールマガジンでの発信

当財団メールマガジン（発行頻度：月1回）およびSNS（Facebook・Twitter）にて、当財団および融資・助成先の活動に関する定期的な発信を通して、各活動の参画者・支援者の増加をはかった。

■実績

【財団メールマガジン購読者数】1900件（年度末時点）

【Facebook ページ いいね！数】1726件（年度末時点）

2-2. メディアサイト作成に向けたインタビューの実施

事業進捗のヒアリングと共に、インタビューの Web（メディアサイト）上での記事・動画公開により共感の種となる事業への想いの可視化に向けて、共感融資・共感助成代表者および財団メンバーを対象に社会的事業（活動）の経験についてのインタビューを実施した。

■開催実績

実施期間： 2017 年 5 月～11 月

対 象： 当財団融資先代表者 8 名、助成先代表者 3 名、当財団役員 1 名

実施人数： 計 12 名

2-3. 支部における広報活動

「中国・九州支部」において、当財団融資事業の活動広報を以下の通り行った。

■開催実績

日 程： 5月15日(月)

名 称： 【中国・九州支部設立記念】共感融資制度・説明会

参加人数： 23名

2-4. 「HOSP(ホスプ)月間」の開催

2017 年 11 月 11 日から 12 月 10 日にかけての 1 カ月間を「HOSP (HOSP:Hopeful and Sustainable Society Projects -次代に希望をつなぎ続けられる持続可能社会へのプロジェクト)月間」と新たに設定し、賛同団体を募り、京都各地で啓蒙のための勉強会等 23 件の企画を実施した。これを通して、目指す社会デザインについて広範に周知を行った。

■開催実績

日程	名称	主催
11 月 11 日(土)	「第 5 回信託デー-未来の資本システム、始まる-」	当財団
11 月 12 日(日)	「A-KIND 塾卒塾制作発表」	当財団
8 月 6 日 (土)	「そもそもエネルギー・資源・食料とは」	当財団
11 月 17 日(金)	「そもそも談義-これからの価値-」	当財団
11 月 20 日(月)	「そもそも談義-人間とは?-」	当財団
11 月 21 日(火)	「可視化の学び舎」	個人
11 月 25 日(土)	「心技体を学ぶ親子スポーツ教室」	親子スポーツ教室
11 月 26 日(日)	「未来の育みの学び舎」	ガイアグループ
11 月 26 日(日)	「Patagonia Snow Film Tour in Japan」	Patagonia
11 月 28 日(火)	「WORK LIFE Cafe 」	株式会社ウエダ本社 /NPO 法人場とつながり ラボ home's vi

11月28日(火)	「わくわく京の公共人材」	京都三条ラジオカフェ
11月29日(水)	「現代中国から学ぶ」	PaKT/一般財団法人国際人材教育基金/ユニバーサルピース株式会社
11月29日(水)	「森を見る力」	個人(連名)
11月30日(木)	「未来を育てる応援団」	NPO法人ホッピング
12月1日(金)	「そもそも談義 -進化とは-」	当財団
12月2日(土)	「底上げが目指す未来」	当財団
12月4日(月)	「311以降の日本とこれからの日本」ダイアログ	(株)ヒューマンフォーラム mumokuteki
12月7日(木)	「ダイバーシティセミナー」	株式会社ウエダ本社
12月8日(金)	「ともいき京都」	ともいき京都
12月8日(金)	「遊から始まる文化」	NPO法人遊プロジェクト京都
12月9日(土)	「核と鎮魂」	当財団
12月9日(土)	「海ごみ問題から考える私たちの暮らしとプラスチック」	京都市ごみ減量推進会議
12月10日(日)	「希望の探求」	地球未来シンポジウム実行委員会

以上